

会 議 録

会議の名称	第5回見沼中学校区義務教育学校開校準備委員会及び専門部会
開催日時	令和2年11月10日(火) 開会：午後7時00分・閉会：午後7時20分
開催場所	行田市総合福祉会館やすらぎの里 第3研修室
出席者(委員)氏名	尾澤照男副委員長(準)、栗原利夫委員(準・運・P)、島田謙二委員(準)、清水乃理子委員(準・運・通)、福田貴司委員(準・P)、大久保明浩委員(準・運・通)、須加春雄委員(準)、須加正委員(準)、田口和伸委員(準・運・P)、大沢正和委員(運)、多田昌樹委員(準・運・P)、吉田廣明委員(準)、中村仁政委員(準・運)、羽鳥修弘委員(運・P)、國島将司委員(運・P)、森田敏一委員(運)、多田敦委員(運)、松村有剛委員(運)、金子雅英委員(運)、飯野隆史委員(運)、新島弘康委員(運)、大塚高雄委員(運)、中村賢一委員(運)、横田勇人委員(運)、武井理委員(通)、吉永孝委員(通)、森田裕也委員(通)、草野和文委員(通)、鈴木道子委員(通)、高澤美香委員(通)、木元貞夫委員(通)、新藤雄作委員(通)、永沼竹彦委員(通・P)、長島宏委員(通)、鯨井一男委員(P)、長谷川賢一委員(P)、杉澤肇委員(P)、飯田智之委員(P)、福地一行委員(P) ※( )内は所属する部会(準：開校準備委員会、運：学校運営部会、通：通学部会、P：PTA部会)
欠席者(委員)氏名	小林茂副委員長(準)、小林敏信委員(準)、青木仁委員(通)
事務局	鈴木教育長、吉田学校教育部長、荻原学校教育部参事、諸貫学校教育部次長、須永主幹、上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼
会議内容	・意識調査結果及び今後の方向性について
会議資料	・資料 見沼中学校区における義務教育学校に関する意識調査
その他必要事項	傍聴人 4名



A 委員	<p>ら決定していく。</p> <p>複式学級の解消は良い事だと思う。それよりも中学校の方が深刻で、何年かすると部活動はテニス部と美術部になってしまうと思う。子供の事を考えると、それは問題だと思う。複式学級解消よりも、もっと先を見てほしい。今回、自分の学校をなくす事になるため、それなりの覚悟で委員をやっていた。大きな声を出した人の意見が通った感じでやるせない。自分たちも覚悟をもってやっているのに、教育委員会も覚悟をもってやってほしかった。</p>
B 委員	<p>ものを決める時に民主的なプロセスは大事。今回どうしてこのような事になってしまったのかの検証が必要。保護者の意見を聞くのは大前提で、真っ先にやらないといけない事で、それはしたはずである。保護者の意見を踏まえて準備委員会が発足して、校名まで決めてきた。そのような過程があるので、このようになってしまった事をしっかりと検証して、悪かった所を明らかにしないといけない。ここにいる人は徒労感を持っていると思う。荒木 8 割、須加 5 割が反対している状況の中で、我々は地区代表としてやってきて、準備を進めるための会合をしていた。それはとんでもない話で、我々の立場もない。地域の代表者でなく、少数派がやっていた事にしか捉えられなくなってしまった。しっかり検証してほしい。パブリックコメントをはじめ色々な検証をして、平成 3 1 年 3 月に作った計画の一つとして義務教育学校があった。この状況では計画全体にも影響すると思う。先ほど、中学校について話があったが、計画には見沼中の状況は書かれていない。中学校の状況も心配だし、計画自体が大きな影響を受ける。この地区の計画だけが破綻したというレベルの話ではない事を確認していかなければいけないと思う。</p>
事務局	5 閉会

